

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 モーメントム・スウィング	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.043	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4 1/2 インチ

番

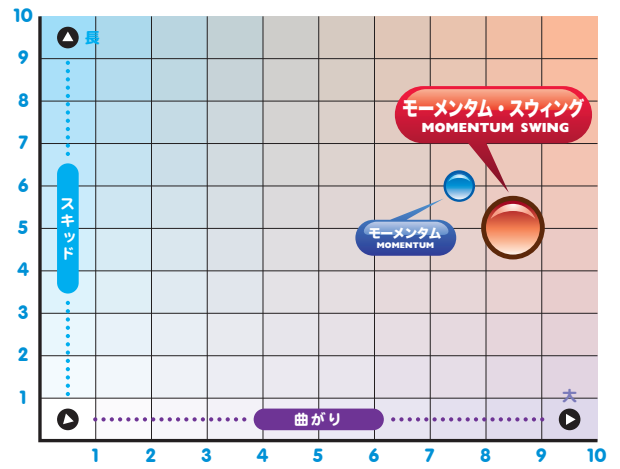
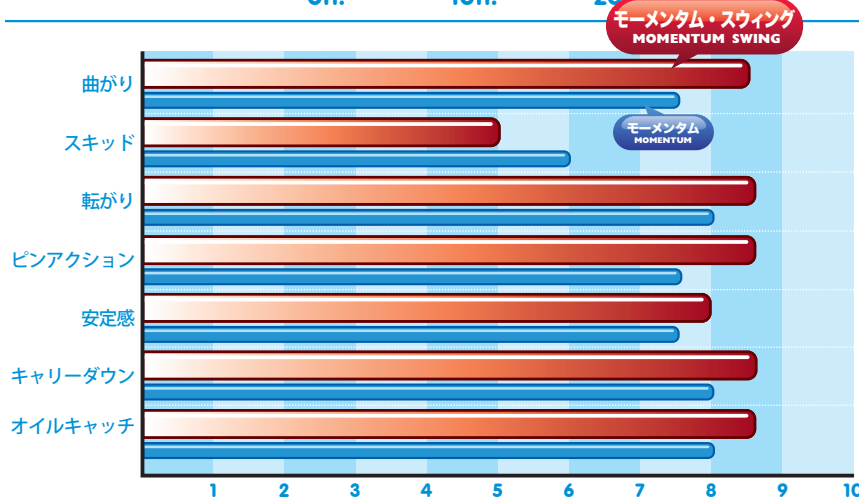
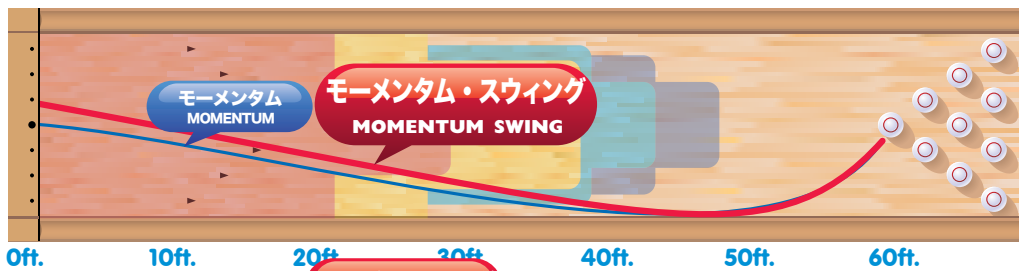
比較対照ボール：アブソリューション・エクスプレス

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4 1/2 インチ

番



ボールの評価

このボールの為にだけにコロンビア開発スタッフが日本を訪れ、クリスバーンズと12会場にもわたるセミナーを敢行。ついに世界同時発売で7月15日にこのモーメントム・スウィングが発売されます。

このボールの特徴はまず、コロンビア社テクノロジーの結晶とも言えるコロンビア社独自のNE2Maxxリアクティブを採用していること。このカバーストックはリサージェンスのように表面の凹凸が深くなく、モーメントムのように細かい粒子状にあるものでもなく、顕微鏡レベルで今までのリアクティブと異なった構成をしています。今回コロンビア社は幅広いコンディションでポケットヒット及びストライク率を向上させる為に、ボール特性が持つ曲がり始めに着目しこのボールを発表してきました。

今までのボールとは違う、幅広いコンディションで曲がり形状のイメージを変える事なくアジャストできるのも、長い年月を費やし開発したこのカバーストックに拘りを持ったコロンビア社の成果が伺えます。このボールを投球し感じた事は、曲がり幅としてはリサージェンスとモーメントムの中間に属しますが、これらのボールにはない、コロンビア社が今回提唱した「Sweet Spot」(オイルの切れ目の少し前のエリア)で動きを出し、ポケットまでの軌道を読みやすくする事と、入射角度の調整も合わせ易くする事がこのボールの狙いです。さらに特徴的なのはピンアクションにおける6番ピンの飛び方で、6番ピンが「横に寝た状態」で低く10番ピンにヒットするのを良く見かけます。それだけ10ピンをヒットする可能性が高く、実際に投球して頂きタップ数を換算しても、このスウィングのタップ率は低いと感じて頂けるでしょう。

特記事項

コロンビア社が長い年月をかけ開発された特徴のあるカバーストック。コア形状はリサージェンスコアの非対称型。幅広いコンディションで曲がりのイメージを変える事なく投球できる「Sweet Spot」からの力強い曲がりを是非お試しください。